












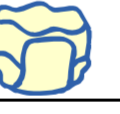





急性胃腸炎の治療を受けられる患者様へ

ID番号 _____ 氏名 _____ 様

担当医師名 _____ 担当看護師名 _____

項目	月日 入院	2日目	3日目	4日目	退院
目標	処置に伴う痛みを最小限にし、ご家族の不安が少なく入院できる。	安全に点滴治療が受けられる。 脱水が改善し、下痢や嘔吐の回数が減少する。		食欲や元気が見られる。 点滴が無事に終了できる。	退院基準 発熱や嘔吐がなく、食欲が回復する。
治療・薬剤 (点滴・内服) ・処置 ・リハビリ	<ul style="list-style-type: none"> 24時間点滴を持続で行います。 必要に応じて、抗生剤を投与する時もあります。 内服薬は、医師に確認します。お手持ちの内服薬がありましたら、看護師に渡してください。 尻が赤いときに  を処方しますのでお申し出ください。 	<ul style="list-style-type: none"> 点滴は続きます。 水分が飲めるようになったら、整腸剤の内服薬を開始します。 	<ul style="list-style-type: none"> 点滴の速度が減るかもしくは終了になります。 内服薬は飲みましょう。整腸剤でも下痢が治まらないときには、看護師にお申し出ください。 		
検査	<ul style="list-style-type: none"> 採血、必要に応じて尿検査やレントゲンをとる時もあります。 便の検査も行います。  	<ul style="list-style-type: none"> 症状の改善が見られないときは、適宜検査を追加します。 			
活動・安静度	<ul style="list-style-type: none"> ベッドで安静にお過ごしください。 感染力が強いため、許可が出るまではお部屋で過ごしましょう。 	<ul style="list-style-type: none"> お子様が、元気が出てきても、まだ感染力は強いのでできるだけお部屋で過ごしてください。 			
食事	<ul style="list-style-type: none"> おなかを休ませるために、絶食もしくは水分のみ可能です。  	<ul style="list-style-type: none"> 水分を飲んでも異常がないときは、回診後屋からお食事をします。(アレルギーがある場合はお申し出ください) 	<ul style="list-style-type: none"> 胃腸炎は食事療法も大切です。食事内容でご希望があれば、医師・もしくは看護師にお申し出ください。油っこい物、甘すぎる物、冷たい物は食べないようにしましょう。 		<ul style="list-style-type: none"> 退院後は、徐々に普通のお食事に戻してください。
清潔	<ul style="list-style-type: none"> 必要に応じて、体を拭きます。 	<ul style="list-style-type: none"> 点滴を行っている間は体を拭きます。オムツを使用中のお子様には、お尻を洗います。 看護師が点滴部位をきれいにします。 			<ul style="list-style-type: none"> 退院後は入浴していいです。
排泄	<ul style="list-style-type: none"> トイレの後はしっかり手洗いをしてください。 オムツは指定の場所に捨ててください。 	<ul style="list-style-type: none"> トイレまで歩くのがつらいお子様には、ポータブルトイレをお貸しします。  			
患者様及びご家族への説明 栄養指導 服薬指導	<ul style="list-style-type: none"> 病棟内をご案内します。 トイレの使い方やオムツの捨て方の説明をします。 	<ul style="list-style-type: none"> お食事が始まったら、胃腸炎のホームケアについて書かれているパンフレットをお渡しします。 			<ul style="list-style-type: none"> 退院の指導をさせていただきます。
	<p>入院中のお願い　お子様の安全のために、ベッドの柵は必ず上げてください。サークルベッドの場合、ちょっとしたすきに落ちたりすることもあります。必ず、上段まで上げておいて下さい。</p>				
	<p>症状によっては予定通りにいかない時もあります。ご了承ください。</p>				